



まんだらげ



患者さまの権利

1 個人として尊重され、質の高い医療を受ける権利

個人の人格が尊重され、年齢、性別、信条、障害の有無などにかかわらず、必要かつ十分な医療を平等に受ける権利があります。

2 医療について十分な説明を受ける権利

ご自身が受ける処置・手術や検査等について、十分な説明を受ける権利があります。また、他の医療機関の医師の意見(セカンド・オピニオン)を求める権利があります

3 自分が受ける医療を自ら決定する権利

納得できるまで説明を受けたのち、ご自身が受ける医療について意見を表明し、自らの意思に基づいて決定する権利があります。

4 医療について情報提供を受ける権利

自分の病気や受けている医療について知ることができるとともに、カルテ等の開示を求める権利があります。

5 個人情報やプライバシーが守られる権利

医療に関する個人情報やプライバシーは厳正に保護される権利があります



CONTENTS

○ 診療科紹介 / 【心臓血管外科・呼吸器外科・乳腺外科】

小児科

- 病棟だより / 5階東病棟
- 新任のごあいさつ / 畑笠義雄病院長・木村眞子看護部長
- 院内とびっくす / お手軽検査スタート
- くるーずあっぷ / セカンドオピニオン外来
- 栄養ワンポイントアドバイス / 冷しゃぶサラダ
- お薬の豆知識 / 湿布薬

広報誌「まんだらげ」の名称について

和歌山を代表する江戸時代の外科医・華岡青洲が全身麻酔薬として用いた植物「曼陀羅華(まんだらげ)」から引用しています。花に「医」の文字をデザインしたものは、本学の学章にも採用されています。

4 地域の中核病院として、和歌山の保健医療を推進します。

3 豊かな人間性と優れた専門技術を持った医療人を育成します。

2 高度で先進的な医療の研究をすすめる、その成果を反映した医療を行います。

1 患者さまとの信頼関係を大切にし、安全で心のもった医療を行います。

基本方針

私達は患者さま本位で、質の高い医療を提供し、地域の保健医療の向上に貢献します。

理念



【心臓血管外科・呼吸器外科・乳腺外科】

困難な手術にも積極的に取り組み 患者さんにとって負担の少ない手術をめざす

心臓血管外科では冠動脈バイパス手術をはじめ弁置換術、弁形成術、大動脈瘤手術、小児心臓手術など様々な手術に取り組み、年間の心臓血管手術は300例を超え、県内外からの緊急手術にも対応しています。また、大動脈瘤は他科と連携し新しい血管内治療を開始しています。呼吸器外科・乳腺外科では肺癌、乳癌などの悪性疾患を中心に診療し、年間300例以上の手術を行っています。単なる切除外科ではなく、術前術後の補助療法を含めた集学的治療として診療を展開しています。手術に際してはセンチネルリンパ節生検や胸腔鏡手術、乳癌のラジオ波熱凝固療法などを積極的に導入し、低侵襲化に努めています。



【小児科】

和歌山県の小児医療の拠点として、 最高・最新の医療を提供

小児科は、新生児から思春期までのあるゆる疾患を対象としています。小児医療の目標は、子供の心身ともに健康な成長と発達にあります。病気の子供を診療し、病気に悩む子供とその家族も支えてゆきたいと考えています。和歌山県立医科大学小児科には腎臓、神経・心身症、感染・免疫、循環器、血液・腫瘍、未熟児・新生児、内分泌、遺伝の各分野にすぐれた専門医が揃っています。一致協力して和歌山県の小児医療の拠点として、最高・最新の医療を提供する機関としての責任を果たしていきたいと考えています。



病棟だより

心の緊張をほぐす心身やすらぐ環境づくり

5階東病棟は、精神保健福祉法に基づく精神科病棟で全40床を有し、専門医や看護師20人が患者さんの治療にあたっています。他の精神科専門病院と異なり、大学病院における精神科病棟ということから、精神疾患を有しながら手術等の治療を必要とする患者さんも入院しています。ストレスを軽減し安

静休養できる環境づくりと活動性を引き出すことをめざし、音楽療法やレクリエーションイベントを積極的に行っています。



病棟での音楽療法の風景

新任のごあいさつ

病院長 はたの よしお 畑 堃 義雄

今年4月、和歌山県立医科大学附属病院・病院長に就任いたしました。当附属病院は県内唯一の教育基幹病院として専門技術を持った医療人の育成に取り組む一方、先進的医療の研究を推進しています。また、厚生労働省より都道府県がん拠点病院に指定されており、がん診療の最先端病院として、院内各科及び地域の医療機関と連携しながら、がん治療のレベルアップをめざしていきます。今年1月には病院機能評価(Ver. 5.0)の認定を受けました。県民のみなさまのために質の高い医療を提供し、地域の医療の向上に職員一丸となって実践していく所存です。



看護部長 きむら なおこ 木村 眞子

このたび和歌山県立医科大学附属病院看護部長に就任し、責任の重さを痛感しています。今年の新入看護師99人を含め看護師は651人。家族や患者さんの声に耳を傾け、信頼関係を築き自己決定を支援できる看護を提供することをめざしています。そして豊かな人間性と幅広い能力を兼ね備えた看護師の育成。各自が能力を発揮でき、キャリアを高め、やりがいを感じられる職場環境づくりに取り組むことが、私の大きな役割だと考えます。また、災害拠点病院として地域と連携し、災害救急医療活動を積極的に行っていきます。



院内とびっくす

お手軽検査スタート 糖尿病など気軽に早めに健康チェック

血液検査で健康状態をチェックする「お手軽検査」が当院でスタートしました。当院および他の医療機関で受診中以外の16歳以上の方が対象で、初診療や健康保険証は不要です。

希望の方は2階正面玄関の県民コーナーに設置している自動券売機で調べたい項目の検査券を購

入のうえ、3階中央検査部受付までご持参ください。申込書に必要事項を記入いただき採血します。検査結果は後日、医師によるコメントを付けて郵送します。匿名希望の方には、引換券をお渡ししますので、再度ご来院ください

検査料		梅毒	600円
脂質・痛風	1100円	糖尿病	800円
肝機能	1100円	貧血	300円
腎機能	300円	前立腺	1500円
B型肝炎	1100円	C型肝炎	1300円



ぐるーずあっが

治療法を選ぶ際の参考にセカンドオピニオン外来

新薬や新しい手術方法の開発により、一つの病気でもいくつもの治療方法があり、医師により治療方針が異なることも珍しくありません。現在の治療に不安を感じている方、治療方法に選択肢があったり、大きな外科手術を勧められている方などの相談に応じるため、当院ではセカンドオピニオン外来を開設しました。

当院以外の医療機関に入院または通院されてい

る患者さん本人またはご家族を対象に現在受けている診断や治療について当院の医師が専門の見地から意見や判断を提供します。完全予約制。

- 予約時間/平日の午前9時～午後4時
- 相談時間/1人につき45分
- 費用/14,400円(全額自己負担・健康保険適用なし)
- 予約方法・詳細問い合わせ/
専用電話073-441-0824(病院課 地域連携室)



栄養ワンポイントアドバイス【病態栄養治療部】

冷しゃぶサラダ

梅雨になるとじめじめとした日が続く、食欲も低下しがちです。食欲のない時は炭水化物中心の食事となり、タンパク質やビタミンが不足しがちです。そこで暑い夏にもお薦めの豚肉と玉ねぎを使った栄養たっぷりの料理「冷しゃぶサラダ」を紹介します。豚肉にはタンパク質はもちろん、炭水化物を効率よく燃焼させる働きのあるビタミンB₁も含まれています。このビタミンB₁の吸収をよくする効果を持つのが玉ねぎに含まれる硫化アリル

という物質で、これは玉ねぎを切ったときに涙がでる原因になります。

ビタミンB₁が豊富な豚肉と玉ねぎで今夏を乗り切りませんか。



【冷しゃぶサラダ】材料1人分＝豚肉60g、レタス30g(1枚)、玉ねぎ50g(4分1個)、ピーマン20g、プチトマト2～3個(野菜はお好みで)
【ゴマだれ】材料1人分＝すりゴマ小さじ1、砂糖小さじ2と2分の1、濃い口醤油小さじ2と2分の1、だし汁15ml
(エネルギー296kcal、タンパク質16g、脂質16.5g、塩分2.2g)

お薬の豆知識



シリーズ⑤「湿布薬」

～薬剤部から～

日常よく使う湿布薬には、冷感タイプと温感タイプがあります。主に冷感タイプは冷やすことにより患部の血管を収縮させ炎症を抑える効果があるので、急性の炎症や痛みを伴う場合に使用します。温感タイプは温めることにより血行をよくする働きがあるので、慢性の肩こり・腰痛等に使用します。ただし、傷口・粘膜・湿疹等のある患部に貼るのは控えましょう。そのほか湿布は入浴の30～60分前にはがし、入浴後ははてりがおさまってから貼るように。また、湿布をはがしたあとが光線過敏症(光かぶれ)を起こすこともあるので注意が必要です。

特定機能病院とは

特定機能病院とは、高度の医療を提供し、医療技術の開発、研修を行う病院として厚生労働大臣の承認を受けたものです。主な承認基準として、診療科が10以上あること、病床数(ベッド数)が400床以上あること、高度な医療機器や集中治療室、無菌室などがあり、医師、看護師、薬剤師などの専門職が配置されていることが条件になります。特定機能病院の診療については他の病院または診療所から紹介された患者さんに対し、医療を行うことが求められています。限られた医療資源を必要な患者さんに有効に提供するため基本的に紹介状と予約による外来診療を行っています。

【最新のカンファランス】

場所：和歌山県立医科大学 図書館棟3階
(生涯研修・地域医療支援センター研修室)

日時：第2木曜日(4月と8月を除く)
午後3時から午後5時

6月12日(木)

第2回「心臓・血圧の病気」

○高血圧治療の最前線

講師：医大・教育研究開発センター 羽野 卓三

○最新の不整脈治療

講師：医大・循環器内科 財田 滋穂

7月10日(木)

第3回「肺の病気―診断と治療の最前線―」

○肺がん 講師：医大・内科学第三教室 南方 良章

○気管支ぜんそく 講師：医大・内科学第三教室 松永 和人

※いずれも定員各100名、参加無料。

問：073-441-0789 和歌山県立医科大学
生涯研修・地域医療支援センター

お知らせ

和歌山県立医科大学附属病院広報誌 まんだらげ〈vol.5〉

2008年6月発行

発行／和歌山県立医科大学附属病院

〒641-8510 和歌山市紀三井寺811-1

TEL 073-447-2300

【ホームページアドレス】

<http://www.wakayama-med.ac.jp/hospital>

※診療スケジュールは、ホームページからご覧いただけます。

外来受付時間

・受付時間 午前8時50分～午前11時30分

・再診で予約のある方は指定時間(予約票の記載時間)

・休診日/土曜日・日曜日・祝日・年末年始(12月29日～1月3日)

電話予約センター

受付時間 月～金 午前8:30～午後4:00

【祝日・年末年始(12月29日～1月3日)を除く】

TEL 073-441-0489

電話をしていただく時間帯により、回線が大変ごみ合うことがあり、ご迷惑をおかけするかもしれませんが、ご了承ください。

次号発行は
9月です。